

1. 「酪農フィールド科学演習」

(1) 受講生によるアンケート評価

受講者人数：計38名

I 本取組に関する共通の質問

I-1 【属性について】

(コメント)

- ・本演習は他大学農学系学部生と広大生物生産学部3年生を対象とした演習である。他大学については、単位互換協定を締結している中国・四国地区の8国公立大学の農学系学部から受講生が参加した。
- ・3年次生が7割を占め、3分の2が女子であった。
- ・農学系の学生ではあったが、他大学の受講生の多くが1年生と2年生であったため、フィールド教育の未経験者が多かった。また、フィールド関連の教育を経験したことがある受講生についても畜産系のフィールド教育を経験した者は全体の3分の1に過ぎなかった。
- ・フィールド関連の授業を経験した時期については大学入学後が7割を占めていた。小中高の教員がフィールドに関連した専門教育(農学)を実践することが難しいこと、また時間的なゆとりの無さ等がその一因ではないかと考えられた。

I-1-1) 所属大学・学部(コース等)

・広島大学…22名

- | | |
|------------------------|-----|
| 生物生産学部生物生産学科・動物生産科学コース | 20名 |
| 生物生産学部生物生産学科・食品科学コース | 2名 |

・高知大学…2名

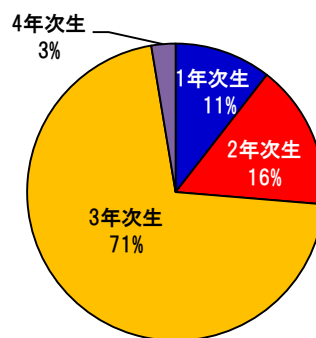
- | | |
|----------------|----|
| 農学部農学科・生命科学コース | 1名 |
| 農学部農学科・暖地農学コース | 1名 |

- ・鳥取大学 農学部生物資源環境学科 …4名
- ・岡山大学 農学部総合農業科学科 …2名
- ・島根大学 生物資源科学部農業生産学科 …2名
- ・愛媛大学 農学部生物資源学科 …2名
- ・山口大学 農学部生物機能科学科 …2名
- ・香川大学 農学部応用生物科学科 …1名
- ・県立広島大学 生命環境学部環境科学科 …1名

I-1-2) 学年

- ・ 1年次生：4名
- ・ 2年次生：6名
- ・ 3年次生：27名
- ・ 4年次生：1名

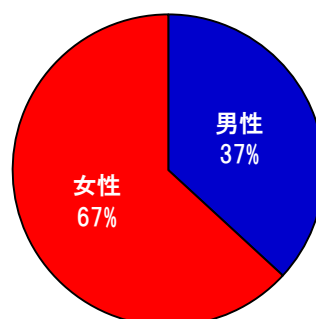
参加者の学年



I-1-3) 性別

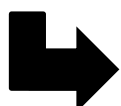
- ・ 男性：14名
- ・ 女性：24名

参加者の性別



I-1-4) この演習以外にこれまでにフィールドを利用した授業を受けた経験があるか

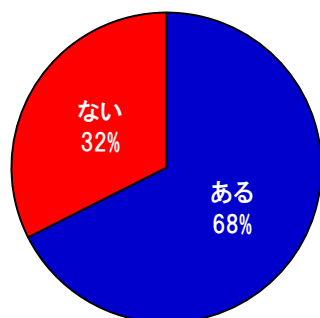
- ・ ある：25名
- ・ ない：12名
- ・ 無回答：1名



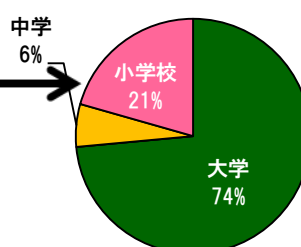
I-1-5) それほどの時期か（複数回答可）

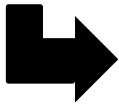
- ・ 大学：25名
- ・ 高校：0名
- ・ 中学：2名
- ・ 小学校：7名

今までにフィールドでの授業を受けた経験の有無



受けた時期





I-1-6) どのような内容の授業だったか

- ・広島大学の「農場実習 I」(6名)
- ・広島大学の「乗船実習」
- ・鳥取大学の「中四国連携フィールド演習の里山フィールド演習」
- ・鳥取大学の「森林フィールド演習」
- ・岡山大学の「中四国連携フィールド演習の牧場実習」(3名)
- ・岡山大学の「肉牛のフィールド演習」
- ・高知大学の「中四国連携フィールド演習の森林フィールド演習」
- ・愛媛大学の「果樹園芸フィールド演習」
- ・里山フィールド演習
- ・里海フィールド演習
- ・瀬戸内海の海水を採取、CTDを下ろしたりして、海洋環境を調べる
- ・野菜の栽培(6名)
- ・果樹の栽培、収穫(2名)
- ・播種、収穫、接ぎ木
- ・田植え、稲刈り
- ・地域の川に生息している生物を調べる(3名)
- ・山地の生物観察
- ・牧場での搾乳

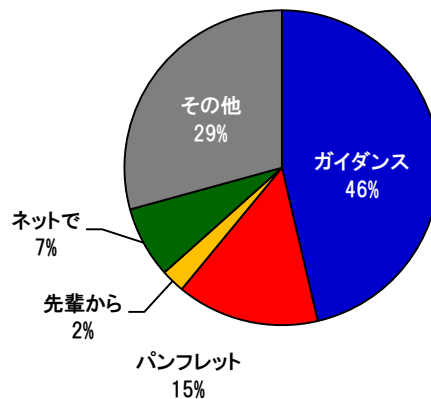
I-2 【授業に参加するにあたっての情報入手について】

(コメント)

・本演習に関する情報は大学のガイダンス時が約5割を占めており、パンフレットやネットを通じた情報入手は2割以下に留まっていた。実施初年度ということもあり、情報が十分に行きわたっていなかったと考えられるので、次年度はパンフレット以外にもポスター等を作成して各大学へ配布するとともに、ホームページの充実を図るなどしてネットを活用した情報配信を強化する必要があると考えられた。

授業のことを、何を通して知ったか（複数回答可）

- ・ガイダンスで：19名
- ・パンフレットで：6名
- ・先輩から：1名
- ・ネットで：3名
- ・その他：13名



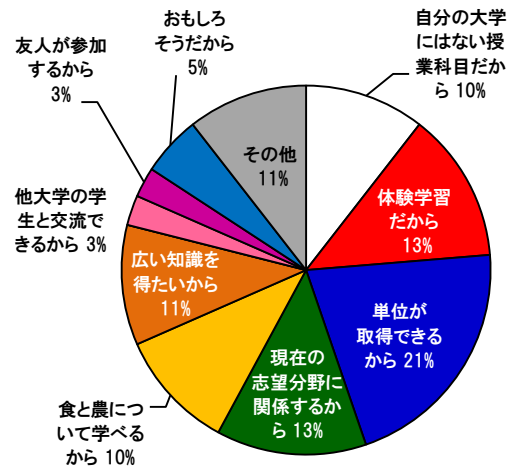
I-3 【授業に参加した理由について】

(コメント)

・最も強い受講理由は、「単位取得」を目的とするものが2割、次いで「体験学習だから」、「志望分野と関係するから」、「広い知見を得たいから」、「食と農について学べるから」、「自分の大学にはない授業科目だから」がいずれも1割程度となっており、受講動機は分散していた。二番目に強い動機についても「体験学習だから」、「単位取得」をはじめとして志望動機は様々であったが、最も強い動機では比較的回答数の少なかった「おもしろそうだから」、「他大学の学生と交流できるから」等を挙げる回答が多かった。農学系の学生であっても、専門分野をより深く習得することだけが動機とは限っておらず、受講目的は多岐にわたっていた。

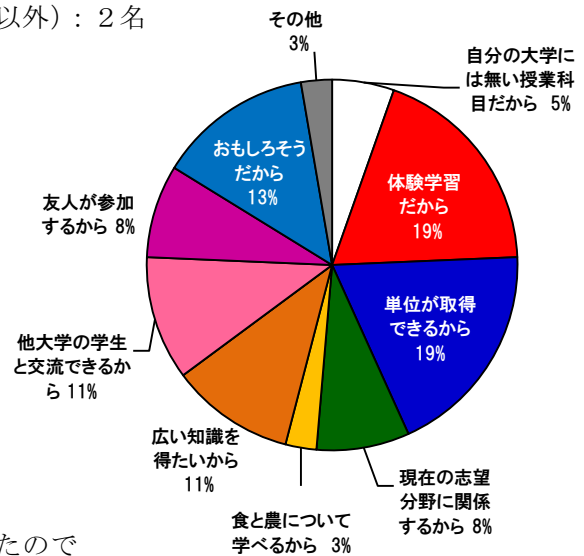
I-3-1) 最も強い動機はどれだったか

- ・自分の大学には無い授業科目だから（広大生以外）：4名
- ・体験学習だから：5名
- ・単位が取得できるから：8名
- ・現在の志望分野に関係するから：5名
- ・食と農について学べるから：4名
- ・広い知識を得たいから：4名
- ・他大学のことを知りたいから：該当者なし
- ・他大学の学生と交流できるから：1名
- ・友人が参加するから：1名
- ・おもしろそうだから：2名
- ・その他（記述）：3名
 - ・動物とふれあいたかった
 - ・参加しておくように言われた
 - ・自分の所属する大学だから



I-3-2) 二番目に強い動機はどれだったか

- ・自分の大学には無い授業科目だから（広大生以外）：2名
- ・体験学習だから：7名
- ・単位が取得できるから：7名
- ・現在の志望分野に関係するから：3名
- ・食と農について学べるから：1名
- ・広い知識を得たいから：4名
- ・他大学のことを知りたいから：該当者なし
- ・他大学の学生と交流できるから：4名
- ・友人が参加するから：3名
- ・おもしろそうだから：5名
- ・その他（記述）：1名
 - ・昨年履修した里山フィールド演習が良かったので



I-4 【広島大学で授業を受けた感想】

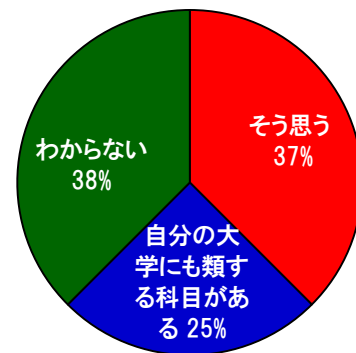
(コメント)

- ・他大学からの受講生は38名中16名であったが、その内の3割が自分の大学にはない授業であると回答していた。2割の受講生は自大学にも類する授業があると回答していたが、I-1-6)で挙げられた授業の一部がそれに当たるのではないかと推察された。
- ・学生は自大学に類似したフィールド教育に関する授業がある場合にも他大学のフィールド関連授業に関心を示していると考えられた。
- ・他大学のほぼ全ての受講生が本演習を肯定的に捉えていた。

I-4-1) 今回受講したフィールド教育に類する授業は、自大学にはない科目・内容だったか

- ・そう思う：6名
- ・自分の大学にも類する科目がある：4名
- ・わからない：6名

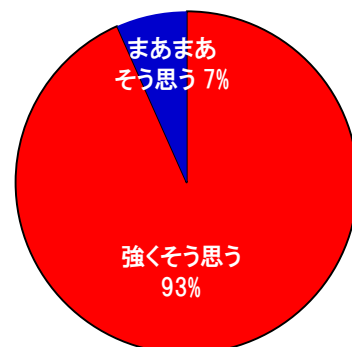
**自大学にはない科目・内容
だったから**



I-4-2) 他大学の先生の授業を受講できてよかったか

- ・強くそう思う：14名
- ・まあまあそう思う：1名
- ・あまりそう思わない：該当者なし
- ・全くそう思わない：該当者なし

**他大学の授業を受講できて
よかったと思うか**



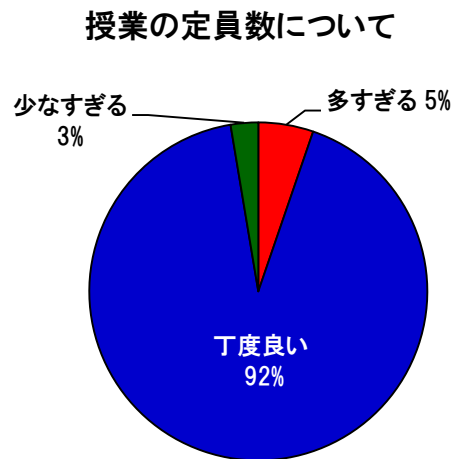
I-5 【他大学の学生との交流等について】

(コメント)

- ・9割以上の受講生が今回の定員数における他大学生との交流に満足していた。
- ・今回の演習では異なった大学の学生間で交流をはかれるようにするために、可能な限り、異大学の学生で各班を構成したが、本学の受講生は数が多かったため、1グループに複数人入ることもあり、班内においては他大生との交流の機会が制限された。

I-5-1) この授業は定員30名に制限しているが(今回は40名)、この定員数について

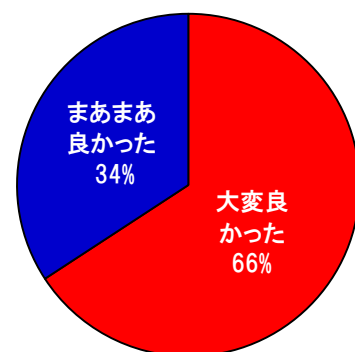
- ・多すぎる：2名
- ・丁度良い：35名
- ・少なすぎる：1名



I-5-2) 他大学の学生と同じ授業を受けたことについて

- ・大変良かった：25名
- ・まあまあ良かった：13名
- ・あまり良くなかった：該当者なし
- ・悪かった：該当者なし

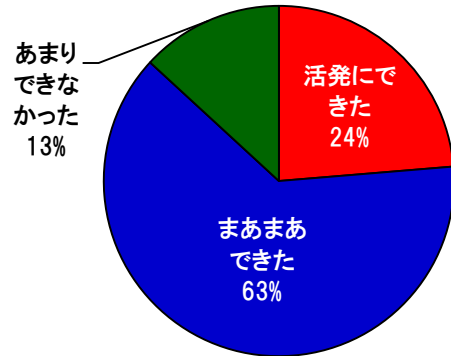
他大学の学生と同じ授業を受けたことについて



I-5-3) 他大学の学生と交流がどの程度できたか

- ・活発にできた：9名
- ・まあまあできた：24名
- ・あまりできなかった：5名
- ・全くできなかった：該当者なし

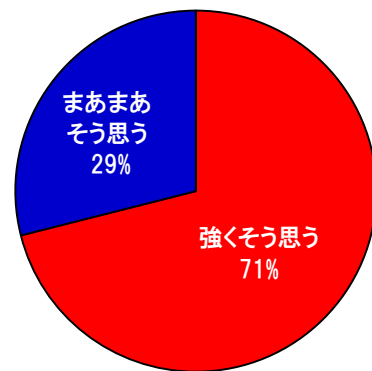
他大学の学生と交流できたか



I-5-4) 今後も他大学の学生との交流機会を増やすのは良いことだ

- ・強くそう思う：27名
- ・まあまあそう思う：11名
- ・あまりそう思わない：該当者なし
- ・全く思わない：該当者なし

今後も他大学の学生との交流機会を増やすのは良いことだと思うか



I-6 【この授業は3泊4日の集中形式で、講義・実習・発表の3部から構成されている】

(コメント)

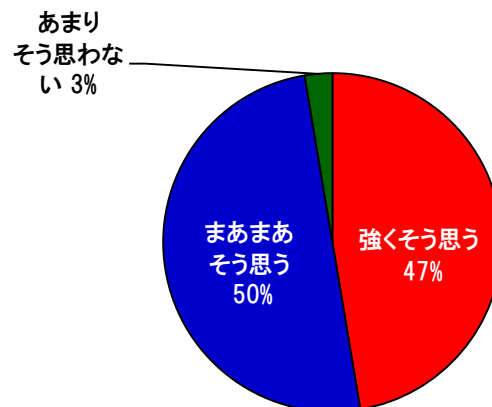
・授業は演習形式(講義+実習+発表)で行われた。すべての受講生は実習が最も面白かったと回答しており、大部分の学生は講義と発表を組み合わせることで授業内容が理解し易くなると感じていたようである。

・4日間の日数については、8割以上の受講生が「丁度良い」と回答していたが、「短すぎる」との意見も1割程度見られた。

I-6-1) こうした組み合わせは、授業を理解するうえで有効である

- ・強くそう思う：18名
- ・まあまあそう思う：19名
- ・あまりそう思わない：1名
- ・全く思わない：該当者なし

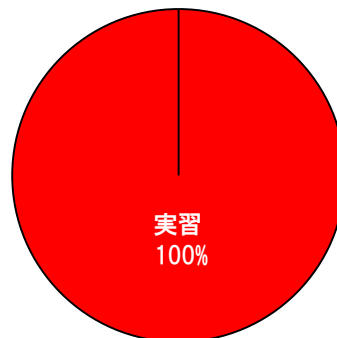
**講義・実習・発表の3部構成は
授業を理解するうえで有効だと思うか**



I-6-2) 3つの部分のうち、最も面白かったもの

- ・講義：該当者なし
- ・実習：38名
- ・発表：該当者なし

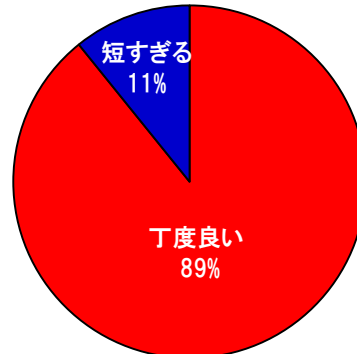
3部構成のうち最も面白かったもの



I-6-3) 4日間の日数について

- ・長すぎる：該当者なし
- ・丁度良い：33名
- ・短すぎる：4名

4日間の日数について



I-7 【参加費に関して】(広大学生以外)

(コメント)

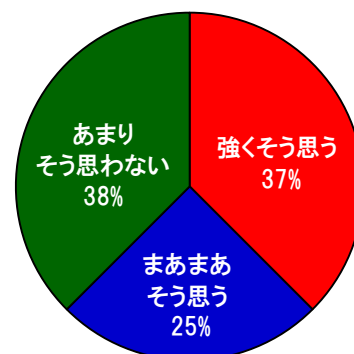
・宿泊施設に関してはほぼ全ての受講生が参加費から考えて妥当と答えていたのに対して、食事については4割の学生が不満を持っていた。後出の演習全体の感想においても食事に関する不満が挙げられており、受講生からすれば質・量ともに価格に見合っていないと感じたようである。食事については全ての受講生の要望に応えることが難しいので、次年度以降はそれぞれの学生自身の費用負担で食事内容や量を選ぶことができる学食の利用を組み込む等の工夫も必要であると考えられるが、朝・夜については時間的に困難であることも予想される。

・参加費は多少高くても宿泊場所や食事を改善して欲しいとの要望もあるので、宿泊施設を変更することは難しいかもしれないが、食事については検討の余地があると考えられた。

I-7-1) 自分の得たものを考えると参加費は妥当

- ・強くそう思う：6名
- ・まあまあそう思う：8名
- ・あまりそう思わない：2名
- ・全くそう思わない：該当者なし

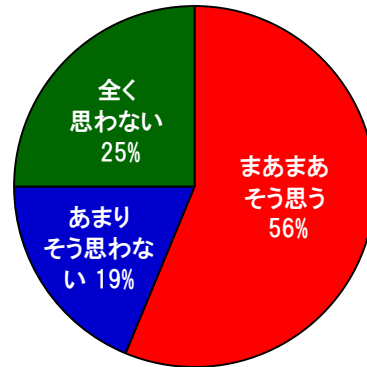
自分の得たものを考えると
参加費は妥当か



I-7-2) 参加費から考えて、食事に満足できた

- ・強くそう思う：該当者なし
- ・まあまあそう思う：9名
- ・あまりそう思わない：3名
- ・全く思わない：4名

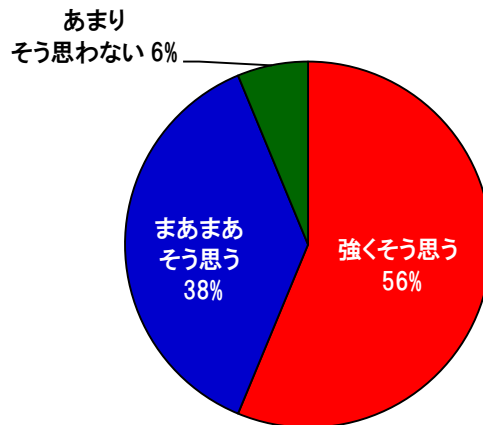
参加費から考えて
食事に満足できたか



I-7-3) 参加費から考えて、宿泊施設に満足できた

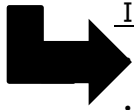
- ・強くそう思う：9名
- ・まあまあそう思う：6名
- ・あまりそう思わない：1名
- ・全く思わない：該当者なし

参加費から考えて
宿泊施設に満足できた



I-7-4) 参加費をもっと高くしても食事と宿泊施設をよくしてほしい

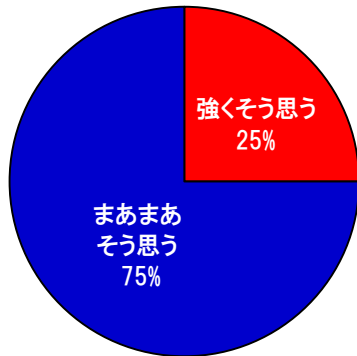
- ・強くそう思う：4名



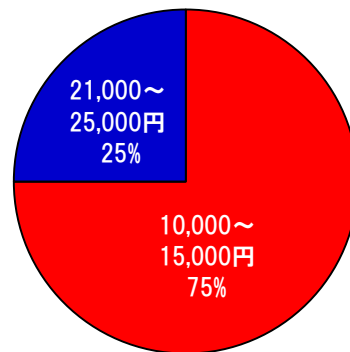
I-7-5) 参加費がどの程度までなら参加するか

- 10,000～15,000円：3名
- ・16,000～20,000円：該当者なし
- ・21,000～25,000円：1名
- ・26,000～30,000円：該当者なし
- ・まあまあそう思う：12名
- ・あまりそう思わない：該当者なし
- ・全く思わない：該当者なし

参加費をもっと高くしても
食事と宿泊施設をよくしてほしい



参加費がどの程度まで
なら参加するか



I-8 【酪農フィールド科学演習全体についての感想】

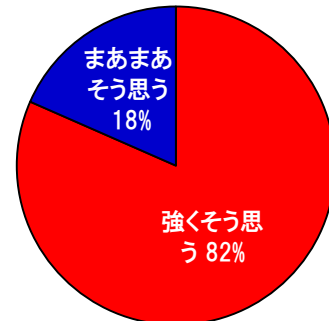
(コメント)

- ・すべての受講生が、講義とフィールド実習を合わせた本演習の形式に満足しており、フィールド科学の幅広さや面白さを知ったと答えていた。
- ・8割以上の受講生が、本演習を通して食と農に関する興味や関心が高まり、農学系学問分野への理解が深まったと感じており、今後も食と農について関心を持ち続けたいと回答していた。このことから、農学系の学生に「食」と「農」についてさらに理解させるという本演習のねらいがある程度達成されたものと考えられた。
- ・多くの受講生が、行動力や積極性、コミュニケーションスキルについて高まったと感じていたが、チームワークやリーダーシップなど、協調性をもってグループをまとめあげる能力については肯定的な意見が7割程度にとどまった。
- ・本演習全般については9割以上の受講生がほぼ満足したものと考えられた。

I-8-1) このフィールド科学演習の形式は通常の講義だけの授業よりも、物事を考える上で有意義である

- ・強くそう思う：31名
- ・まあまあそう思う：7名
- ・あまりそう思わない：該当者なし
- ・全く思わない：該当者なし

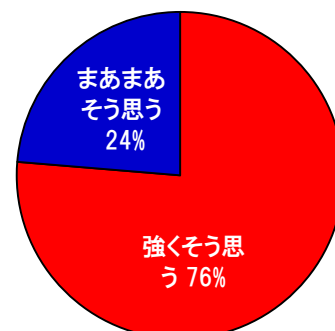
フィールド科学演習の形式は物事を考える上で有意義である



I-8-2) この演習によって、フィールド科学の幅広さや面白さを知った

- ・強くそう思う：29名
- ・まあまあそう思う：9名
- ・あまりそう思わない：該当者なし
- ・全く思わない：該当者なし

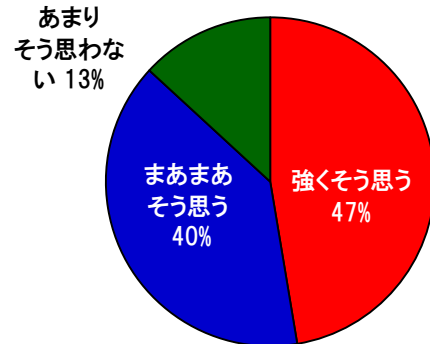
この演習によってフィールド科学の幅広さや面白さを知った



I-8-3) この演習を受講してこの分野についてもっと知りたくなった

- ・強くそう思う：18名
- ・まあまあそう思う：15名
- ・あまりそう思わない：5名
- ・全く思わない：該当者なし

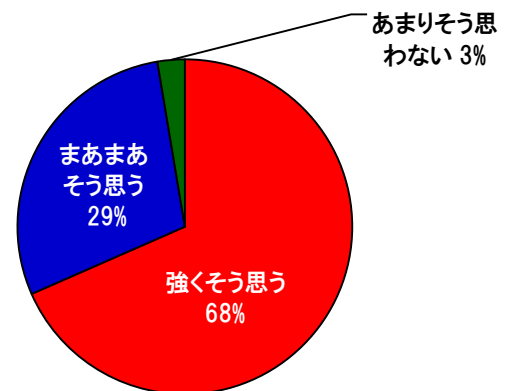
この分野についてもっと知りたくなったか



I-8-4) この演習によって、農学系学問分野（食と農の関わりを含む）への理解が深まり、視野を広く持てるようになった

- ・強くそう思う：26名
- ・まあまあそう思う：11名
- ・あまりそう思わない：1名
- ・全く思わない：該当者なし

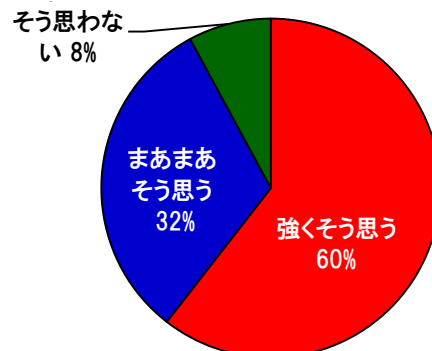
農学系学問分野への理解が深まり、視野を広く持てるようになったか



I-8-5) この演習によって、食べ物と命の関連性について考えるようになった

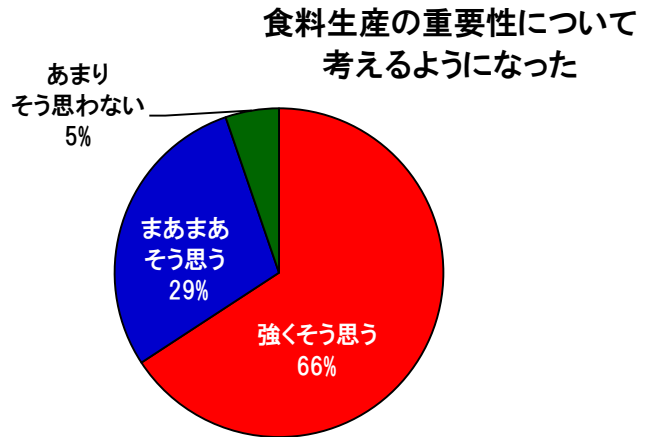
- ・強くそう思う：23名
- ・まあまあそう思う：12名
- ・あまりそう思わない：3名
- ・全く思わない：該当者なし

食べ物と命の関連性について考えるようになったか



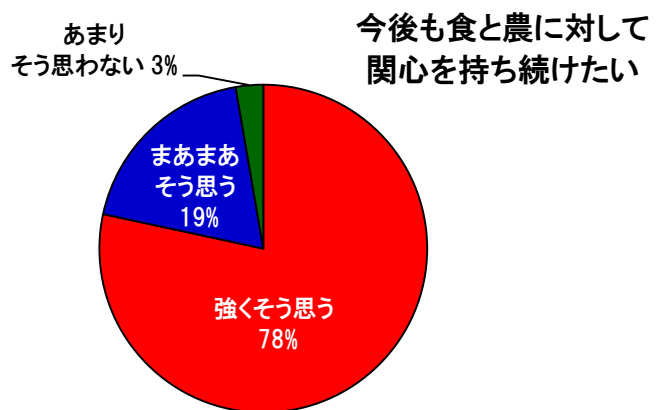
I-8-6) この演習によって、食料生産の重要性について考えるようになった

- ・強くそう思う：25名
- ・まあまあそう思う：11名
- ・あまりそう思わない：2名
- ・全く思わない：該当者なし



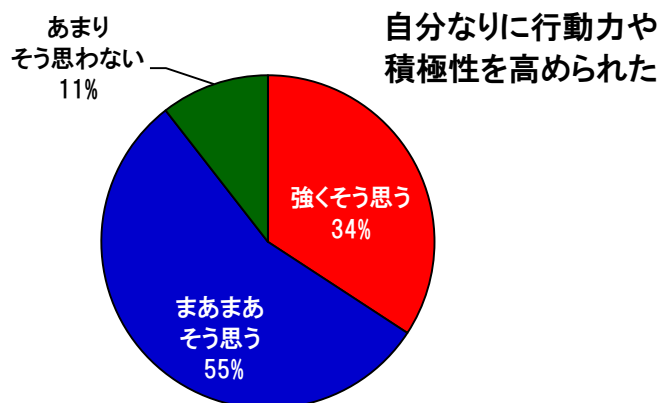
I-8-7) この演習によって、今後も食と農に対して関心を持ち続けたいと思うようになった

- ・強くそう思う：29名
- ・まあまあそう思う：7名
- ・あまりそう思わない：1名
- ・全く思わない：該当者なし



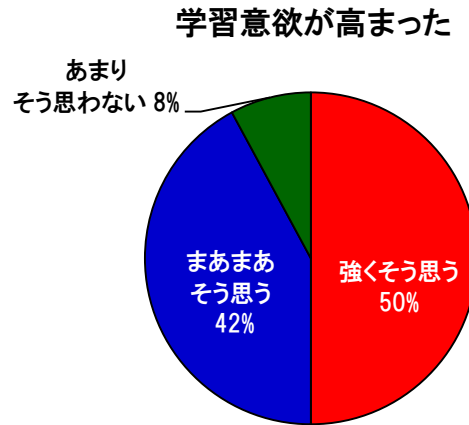
I-8-8) この演習によって、自分なりに行動力や積極性を高めることができた

- ・強くそう思う：13名
- ・まあまあそう思う：21名
- ・あまりそう思わない：4名
- ・全く思わない：該当者なし



I-8-9) この演習によって、これからの学習意欲が高まった

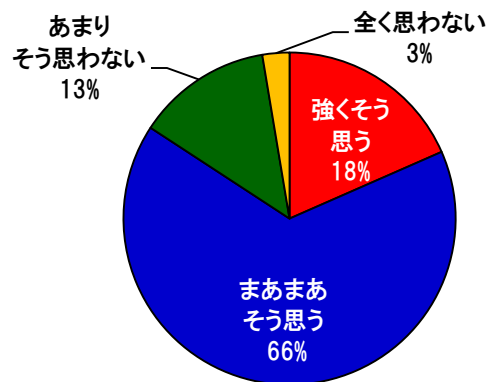
- ・強くそう思う：19名
- ・まあまあそう思う：16名
- ・あまりそう思わない：3名
- ・全く思わない：該当者なし



I-8-10) 他大学の学生と交流することによって、コミュニケーションスキルが高まった

- ・強くそう思う：7名
- ・まあまあそう思う：25名
- ・あまりそう思わない：5名
- ・全く思わない：1名

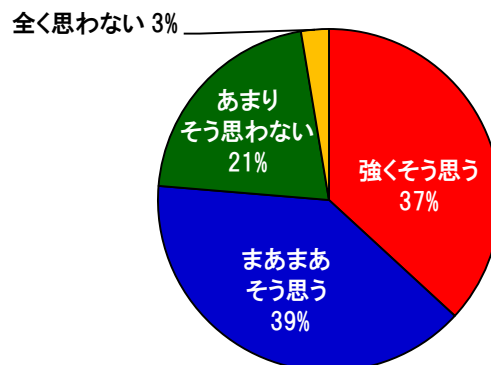
**他大学の学生との交流により
コミュニケーションスキルが高まった**



I-8-11) グループ単位の実習によって、チームワークに対する意識が高まった

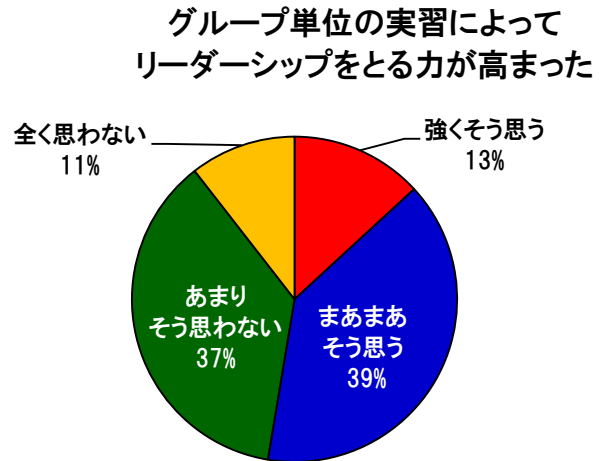
- ・強くそう思う：14名
- ・まあまあそう思う：15名
- ・あまりそう思わない：8名
- ・全く思わない：1名

**グループ単位の実習によって
チームワークに対する意識が高まった**



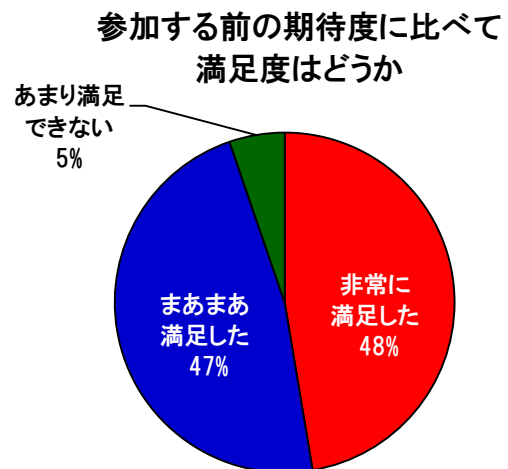
I-8-12) グループ単位の実習によって、リーダーシップをとる力が高まった

- ・強く思う：5名
- ・まあまあ思う：15名
- ・あまりそう思わない：14名
- ・全く思わない：4名



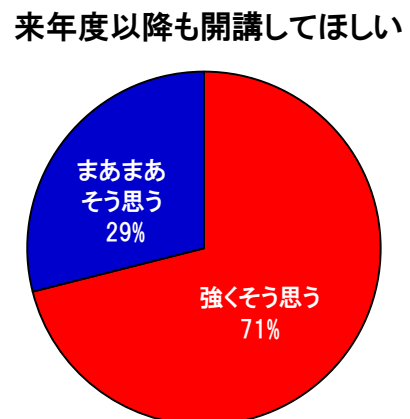
I-8-13) 参加する前の期待度に比べて満足度はどうか

- ・非常に満足した：18名
- ・まあまあ満足した：18名
- ・あまり満足できない：2名
- ・全く満足できない：該当者なし



I-8-14) この演習を来年度以降も開講するのが良い

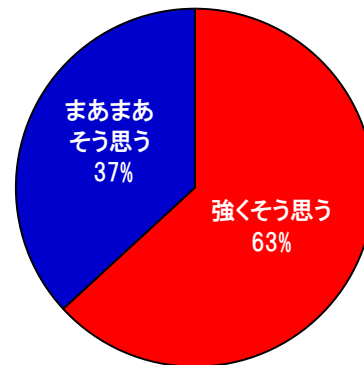
- ・強く思う：27名
- ・まあまあ思う：11名
- ・あまりそう思わない：該当者なし
- ・全く思わない：該当者なし



I-8-15) 今回の演習を受講して後輩にも勧めたいと思ったか

- ・強くそう思う：24名
- ・まあまあそう思う：14名
- ・あまりそう思わない：該当者なし
- ・全く思わない：該当者なし

この講義を後輩にも勧めたいと思った



I-9 【その他】

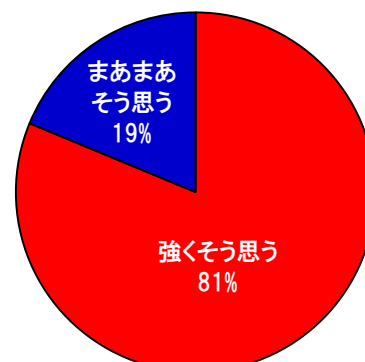
(コメント)

・すべての受講生が他大学で講義を受講する機会を増やして欲しいと回答しており、本講義も含めて、今後さらに大学間で教育を通じた連携が必要であると考えられた。

I-9-1) 酪農フィールド科学演習以外にも他大学の講義を受講できる機会をもっと増やしてほしい(広大生以外)

- ・強くそう思う：13名
- ・まあまあそう思う：3名
- ・あまりそう思わない：該当者なし
- ・全く思わない：該当者なし

他大学の講義を受講できる機会をもっと増やしてほしい

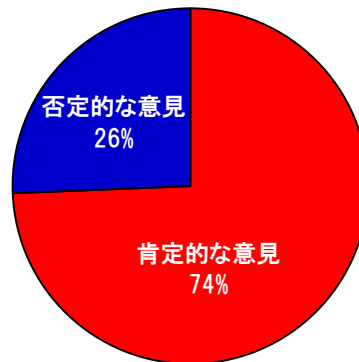


I-9-2) フィールド演習一般についての受講生の意見

・大多数の回答がフィールド演習一般についてではなく、今回の演習に対する意見や感想であったので、今回の演習に対する意見を中心に肯定的意見と否定的意見に分類した。

●回答者数：29名、未回答：10名

受講者の意見



《肯定的な意見・感想》

- ・自分の所属する学科では酪農などについて学ぶ機会がないので、今回の実習によって、今まで感じなかったことや考えなかったことをたくさん考えることができた。牛乳を大切に飲もうと思った。
- ・自分の大学では乳牛がないので、学校の講義でしか知らないことについて実際に体を使って触れることに非常に喜びがある上に、肌で感じたものの方がより理解が深まるので、フィールド実習は本当に良いものだと思う。
- ・今まで体験したことのないことや、あまり経験する機会のないことを体験できたし、他大学の人といろいろな話もでき、いつもなら習うことのない内容の講義を聞くことができ、良い経験になったと思う。
 - ・実際にフィールドで演習を行うことで、酪農の大変さや重要性などを身にしみて感じることができた。
- ・貴重な体験ができ、酪農の楽しさを知ると同時に苦勞も知ることができる、充実した4日間でした。

- ・牛を育てている酪農家の実態について身を持って経験することができたことは、とても良かった。今後、牛に触れることなんて絶対にできないと思う。
- ・期待していたよりも、酪農を体験できて満足できた。
- ・1日中あるので、朝の仕事と夕の仕事を体験できたのでよかった。
- ・普段できない体験ができて楽しかったし、きつい作業もいい経験になった。
- ・様々な体験ができて良かった。特に初めて体験した乳搾りとバター作りが楽しかった。他の体験も除糞作業などは大変だったけど、酪農に対して理解が深まった。
- ・在学4年間に1度は受けるべきだと思うような有意義な授業だった。
- ・短期間で日程がハードだったが良い経験になった。
- ・他大学に行くことは、いつもと違う環境で勉強できるからいいと思った。
- ・他の大学の学生と交流できるいい取り組みだと思います。
- ・他大学の生徒と交流することで、広大にはない考え方や知識を共有することができて、良い授業だと思う。
- ・毎年、中四国連携のフィールドに参加しているが、毎回、他大学の人との交流が楽しみでならない。自分の体を動かして学んだことは記憶にも残るので、とてもいい演習だと思う。
- ・他大学の人との交流はもちろん、実体験できる場所や専門の人から直接話を聞けるところがとてもよいと思う。
- ・バター作りが楽しかった。でも日数があるのでヨーグルト作りとかにしたらいいなあと思う。
- ・普段自身の大学では学べず、通常の生活では知ることすら出来ない苦勞や楽しみを学び味わえていい。
- ・いい経験ができるいい機会なので、今後も続けてほしいです。
- ・来年は今年以上のすばらしい演習にしてほしい。

《否定的な意見・感想》

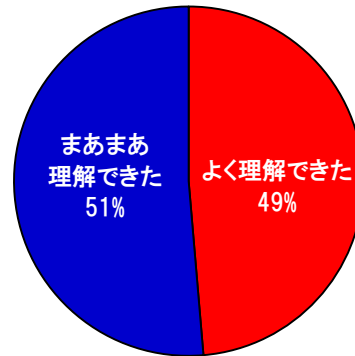
- ・以前やったこととかぶっていたことが多すぎる気がした。
- ・広大生は、既に実習で行った内容が主だったのが少し残念。
- ・もう少し時間を増やしてほしい。
- ・グループの人数が少し多かったので思う存分体験できなかった人もいるのではないかなと思う。(1年生などが遠慮してしまってできないなど)
- ・食事が質、量とも不満。業者を変えるべき。宿泊施設のふとんがとても寝にくい。
- ・交流会をもう少し、改善してほしい。

Ⅱ 授業に関する質問】

Ⅱ－１－１) 講義内容について

- ・よく理解できた：18名
- ・まあまあ理解できた：19名
- ・あまり理解できなかった：該当者なし
- ・全く理解できなかった：該当者なし

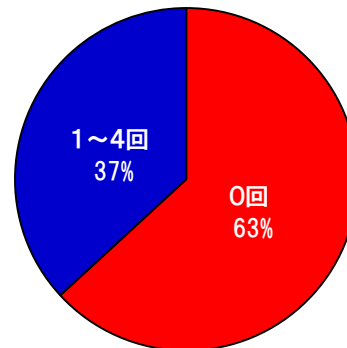
講義内容について



Ⅱ－１－２) 講義の内容について教員や補助者に何回、質問をしたり意見を述べたりしたか

- ・0回：24回
- ・1～4回：14回
- ・5回以上：該当者なし

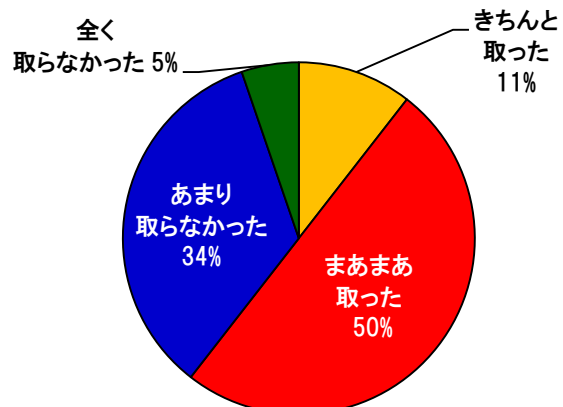
講義の内容について
質問をしたり意見を述べたか



Ⅱ－１－３) 講義のノートやメモを取ったか

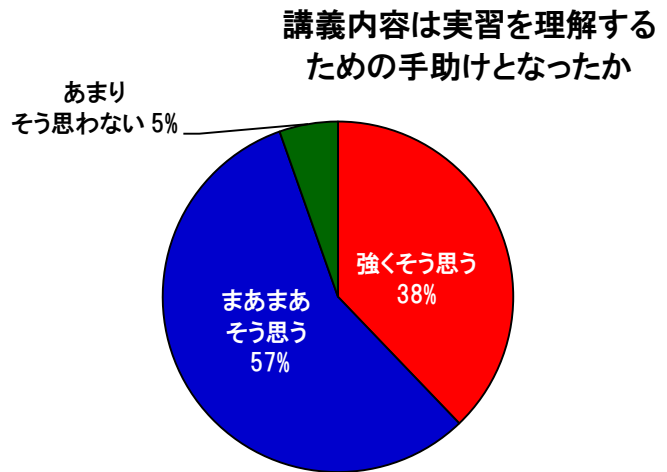
- ・きちんと取った：4名
- ・まあまあ取った：19名
- ・あまり取らなかった：13名
- ・全く取らなかった：2名

講義のノートやメモを取ったか



Ⅱ－１－４) 講義内容は、この授業全体や実習の意味や目的、内容を理解させるものだったか

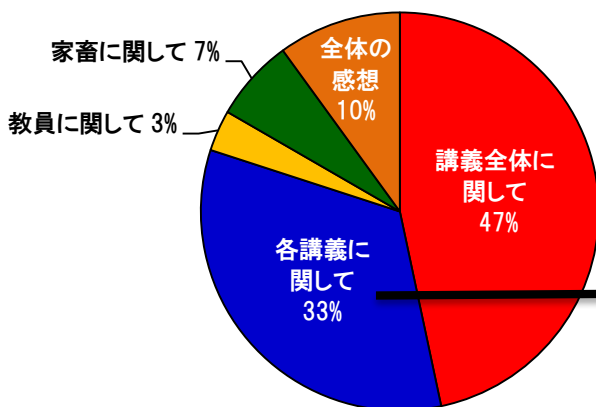
- ・強くそう思う：14名
- ・まあまあそう思う：21名
- ・あまりそう思わない：2名
- ・全く思わない：該当者なし



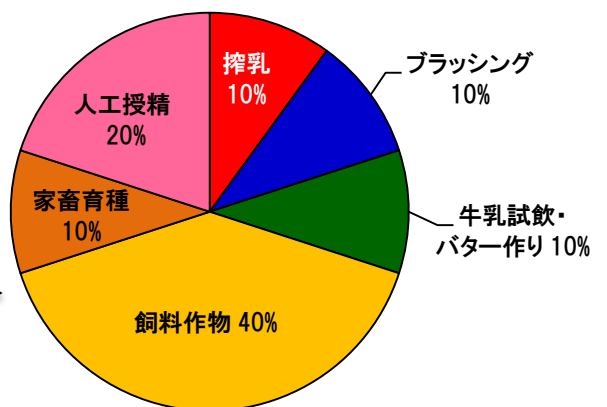
Ⅱ－１－５) 講義のどのような部分が面白かったか

●回答者数：30名、無回答者数：9名

講義のどのような部分が面白かったか



各講義の面白かった部分



- 以下に面白かった部分として受講者が挙げていた内容をカテゴリー別に記載する。

《講義全体に関して》

- ・実際に体験や見学をしながら学ぶことによって、講義の内容をさらに深く身につけることができたと思う。
- ・聞くだけでなく、実際に見たり、体験する形で学習できる講義がよかった。
- ・講義の後に実際に外で見る形式だったので、理解することが早かったと思う。
- ・今回は講義と体験の内容が重なっているところがあったので、それが面白かった。
- ・普通よりも、実物を見たりすることができたこと。
- ・大学でも一度学習した内容だったが、実際に見たり飼料に触れたりしたところが普段と違って面白かった。
- ・内容は知っていたことが多かったために面白くはなかったが、復習になった。

《各講義に関して》

- ・牛乳の飲み比べ、バター作り、ヘイレージの見学が楽しかった。
- ・搾乳、ブラッシングが特に楽しかった。
- ・模擬人工授精が楽しかった。
- ・飼料に関するところが面白かった。
- ・実際の飼料に触れたりできてよかった。
- ・家畜の育種が面白かった。
- ・とうもろこし、人工授精の講義が楽しかったし理解しやすかった。

《教員に関して》

- ・他大学の教授の話が聞けてとてもよかった。

《家畜に関して》

- ・牛に対する知識が広まった。
- ・自分の大学では乳牛を飼っていないため、乳牛についての授業はほとんど行っていない。だから乳牛の種類や特性などを学べたのが面白かった。

《全体の感想》

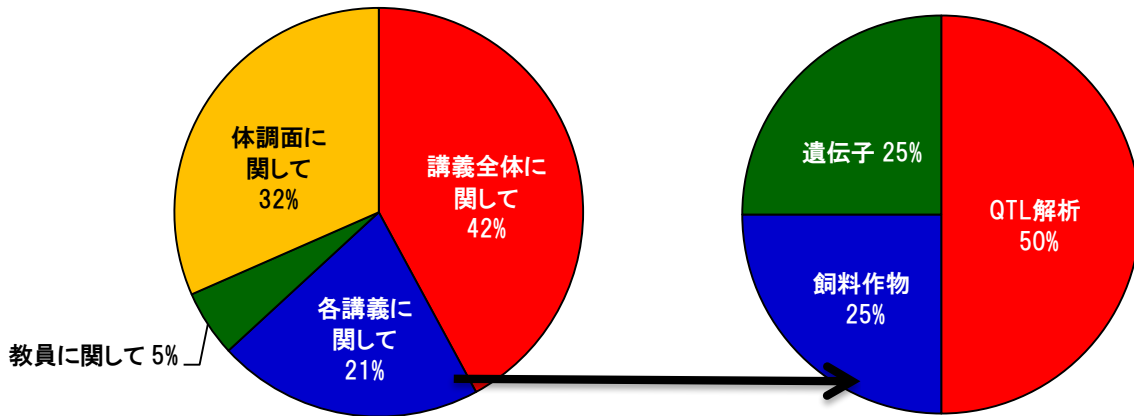
- ・多様な面を広く知ることができた部分。
- ・普段勉強している分野と異なるので、自分が知らない知識を多く得ることができて面白かった。
- ・知らないことを知ることができた。

Ⅱ－１－６）講義のどの部分が理解しにくかったか

●回答者数：１９名、無回答者数（特になしを含む）：２０名

講義のどの部分が理解しにくかったか

各講義の理解しにくかった部分



●以下に理解しにくかった部分として受講者が挙げていた内容をカテゴリー別に記載する。

《講義全体に関して》

- ・酪農などに対する学習をしていることを前提に話をされると、私はそのような学習をしている学科ではないので、大変だった。
- ・専門の分野ではないので、話だけを聞いてもよく理解できなくて困った。
- ・普段勉強している分野と異なるので、知らない語句などがあり、理解しにくい部分があった。
- ・専門的なことが多く、頭の追いつかない部分があった。
- ・学校で専門的な授業はほとんど受けていないので、専門用語の意味がわからなかった。
- ・今から行う実習についての授業なのかどうかわからなかった。
- ・理解できたが、他大学の１年生とかは全くわからないだろうと思った。
- ・初めて受けた講義なら、もっと具体的な意見が出せたかもしれないが、何とも言えない。

《各講義に関して》

- ・QTL解析が、説明の時間が短くてわかりにくかった。
- ・QTLやマーカーアシスト選抜について、もう少し説明がほしいと思った。
- ・飼料の話が理解しにくかった。
- ・遺伝子関係の話はやはり難しいと思った。

《教員に関して》

- ・先生の声が眠くさせた。

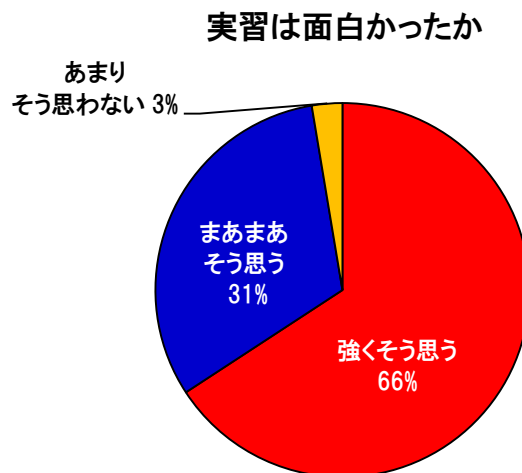
《体調面に関して》

- ・疲れで、眠くなるから理解しにくい。
- ・講義が実習と実習の間なので、集中力が切れた。
- ・講義室が寒く、狭かった。
- ・野外での活動をし、ご飯を食べたあとなので、自分の集中力が欠け、普段より全体的に理解しにくかった。
- ・実習の後に講義のため、疲れて集中できない時があった。

Ⅱ-2【今回の実習について】

Ⅱ-2-1) 実習は面白かったか

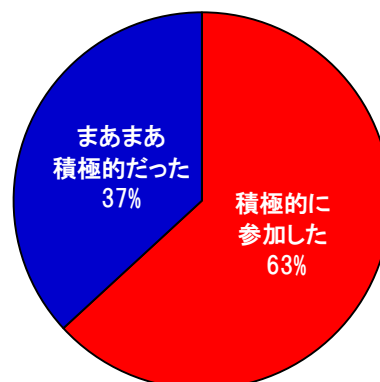
- ・強くそう思う：25名
- ・まあまあそう思う：12名
- ・あまりそう思わない：1名
- ・全く思わない：該当者なし



Ⅱ-2-2) 実習にどのように参加したか

- ・積極的に参加した：24名
- ・まあまあ積極的だった：14名
- ・あまり積極的でなかった：該当者なし
- ・全く積極的でなかった：該当者なし

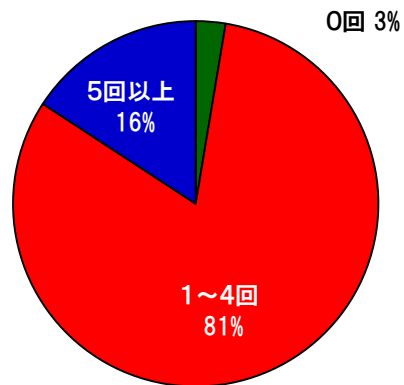
実習にどのように参加したか



Ⅱ－２－３）実習の際、先生や実習補助者に何回質問したり意見を述べたりしたか

- ・ 0回：1名
- ・ 1～4回：31名
- ・ 5回以上：6名

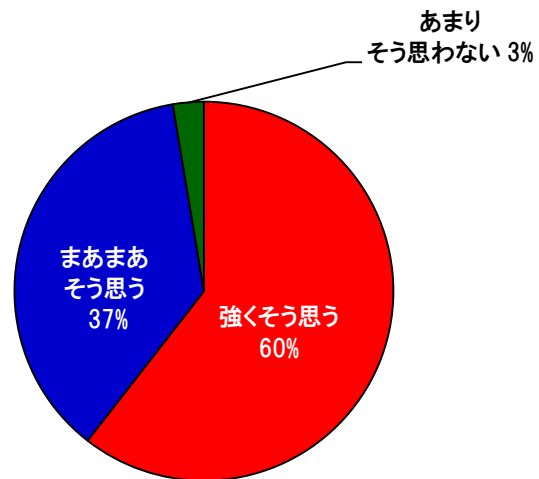
実習の際に質問したり意見を述べたか



Ⅱ－２－４）実習があることによって、講義内容を理解できるようになったか

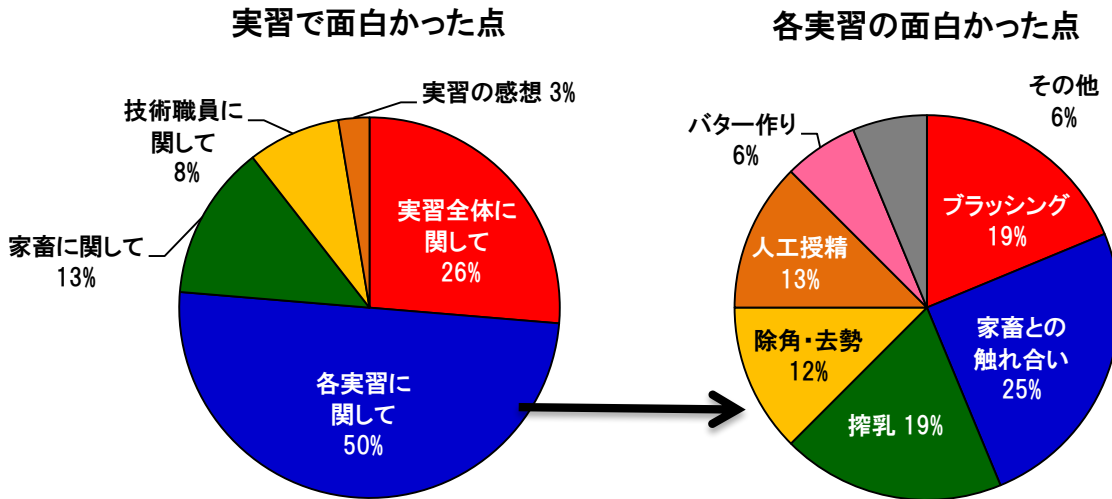
- ・ 強くそう思う：23名
- ・ まあまあそう思う：14名
- ・ あまりそう思わない：1名
- ・ 全く思わない：該当者なし

実習によって講義内容を理解できたか



Ⅱ-2-5) 実習で面白かったのはどのような点か

●回答者数：38名、無回答者数：1名



●以下に面白かった部分として受講者が挙げていた内容をカテゴリー別に記載する。

《実習全体に関して》

- ・全体的に面白かった。
- ・いろいろなことが体験できた。
- ・普段では体験できないことを実際に体験できたことや、家畜とたくさん触れ合えたこと。
- ・体験することで、いつも思わないような疑問も生まれてきて、より多くの知識を得られたと思う。
- ・農場の仕事を自身で体験できたので、全般的に面白かった。
- ・理想を語るものだったので、今回の実習の知識と発想でプレゼンを作ることができた点がよかった。

《各実習に関して》

- ・ブラッシングしたことや、去勢を見たこと。
- ・やってみたく思っていた搾乳やブラッシングが面白かった。期待以上だったのは人工授精のところで、子宮を扱ったことと実際に受精するところを見たこと。
- ・牛に触って追いかけたこと。
- ・ブラッシング、子牛・子豚たちとの触れ合い。

- ・乳牛にかかわらず、和牛や山羊、めん羊などの管理もできたこと。
- ・農作業はハシゴなどに登れて楽しかった。
- ・除糞作業など大変なことも体験できて面白かった。
- ・バター作り、子牛の観察や乳やり、牛舎の清掃。
- ・除角作業、去勢。
- ・乳搾りなど、初めて体験することが面白かった。
- ・排糞処理が面白かった。
- ・特に技術職員さんしかできない人工授精や、去勢を実際に見ることができたのはよかった。
- ・普段は見ることができない光景を見られた。

《家畜に関して》

- ・牛と触れ合えた。
- ・牛がかわいかった。
- ・普段触れ合うことのできない牛を間近で見て、触れることができた。
- ・牛が思っていたより人に馴れていて面白かった。
- ・子豚がかわいかった。

《技術職員に関して》

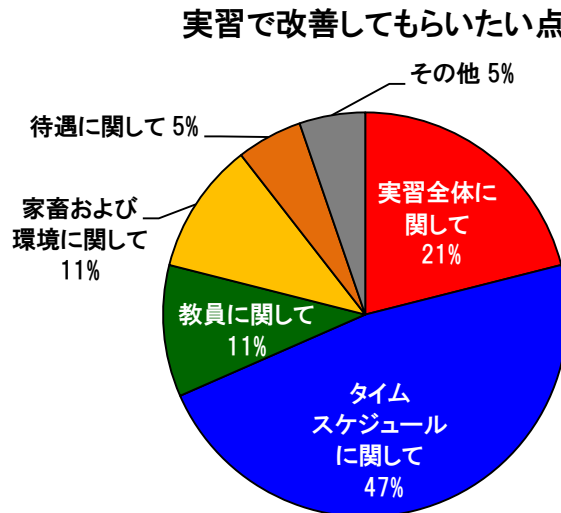
- ・技術職員のみなさんと会話できた。
- ・技術職員の方が優しく、実習自体も楽しかったしやる気が出た。
- ・広大の農場の問題点等も、技術職員さんに質問できたこと。実際に、実務に携わっている人に話を聞いたこと。

《実習の感想》

- ・実験で農場を訪れた時と同じことをしたので、少し慣れた手つきで出来たと思う。

Ⅱ－２－６）実習で改善してもらいたいのはどのような点か

●回答者数：１９名、無回答者数（特になしを含む）：２０名



●以下に改善してもらいたい点として受講者が挙げていた内容をカテゴリー別に記載する。

《実習全体に関して》

- ・農場実習Ⅰと実習内容がほとんど同じなので、別のこともしたかった。
- ・農場実習Ⅰと同じ内容のものが多く、新鮮さが少なかった。
- ・班等によって、できる事に差ができてくること。

《タイムスケジュールに関して》

- ・実習時間が少ない。
- ・一人一人がもう少しだけ長く実習できるようにしてほしい。
- ・もう少し長い時間、実習をしたいと思った。
- ・一つ一つの実習が短い。
- ・全体的にタイムスケジュールがタイト。休憩した感じがしなかった。
- ・休憩時間がもっとほしい。
- ・お昼の休憩時間が短い。
- ・１７：００～１９：００の広大生の時間は使いにくい。

《教員に関して》

- ・専門分野ではないので、わからないことが多かったけど、知っていること前提のように説明されて困ることがあった。
- ・説明を詳しくして頂けると分かりやすかったと思う。

《家畜および環境に関して》

- ・もう少し動物と接したい。
- ・サイレージのにおい。

《待遇に関して》

- ・広大生にも昼食、宿泊、バスを用意できればより良いと思う。

《その他》

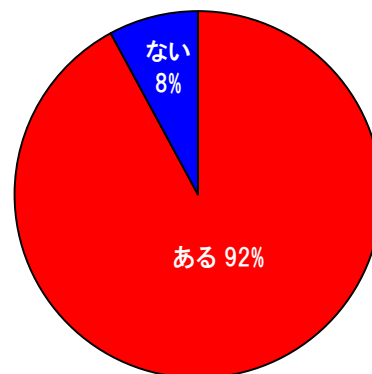
- ・交流会を改善してほしかった。
- ・今回の実習は満足。

Ⅱ-3 【今回の発表会について】

Ⅱ-3-1) これまでに発表経験があるか

- ・ある：35名
- ・ない：1名

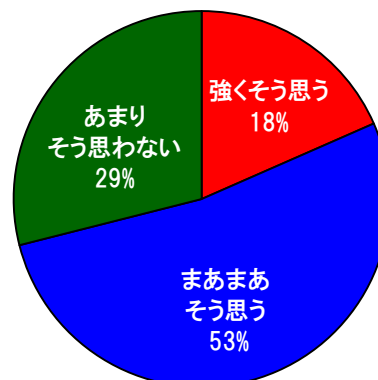
発表経験があるか



Ⅱ-3-2) 発表は大変苦労したか

- ・強くそう思う：7名
- ・まあまあそう思う：20名
- ・あまりそう思わない：11名
- ・全く思わない：該当者なし

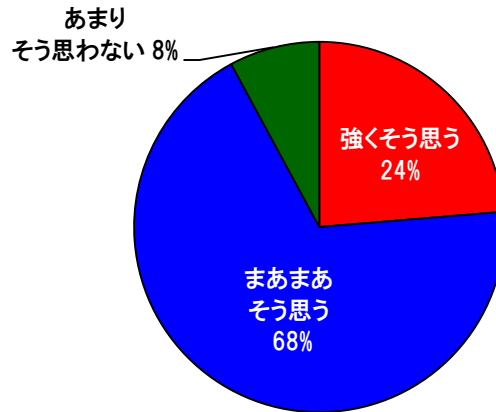
発表は大変苦労したか



Ⅱ－３－３）発表のチームワークはうまくできたか

発表のチームワークはうまくできたか

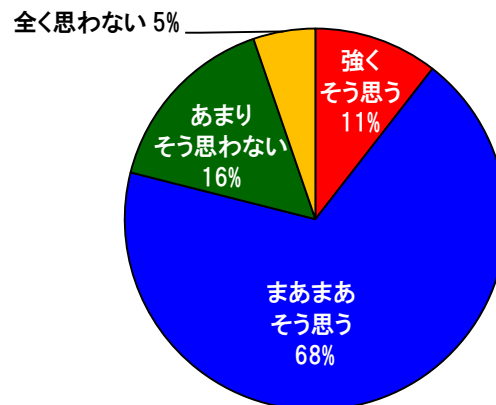
- ・強くそう思う：9名
- ・まあまあそう思う：26名
- ・あまりそう思わない：3名
- ・全く思わない：該当者なし



Ⅱ－３－４）発表内容に満足しているか

発表内容に満足しているか

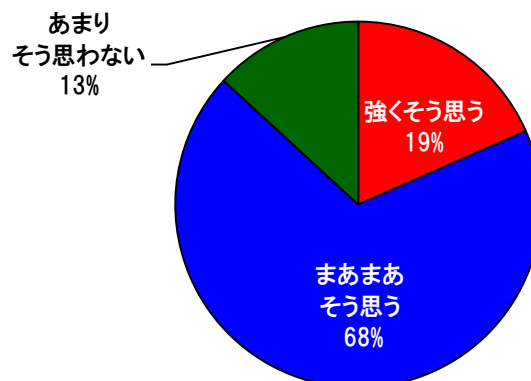
- ・強くそう思う：4名
- ・まあまあそう思う：26名
- ・あまりそう思わない：6名
- ・全く思わない：2名



Ⅱ－３－５）発表のための基礎的な手法が身についたか

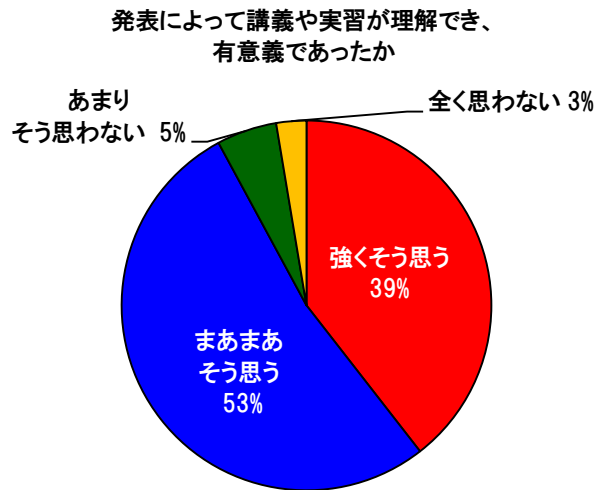
発表のための手法が身についたか

- ・強くそう思う：7名
- ・まあまあそう思う：26名
- ・あまりそう思わない：5名
- ・全く思わない：該当者なし



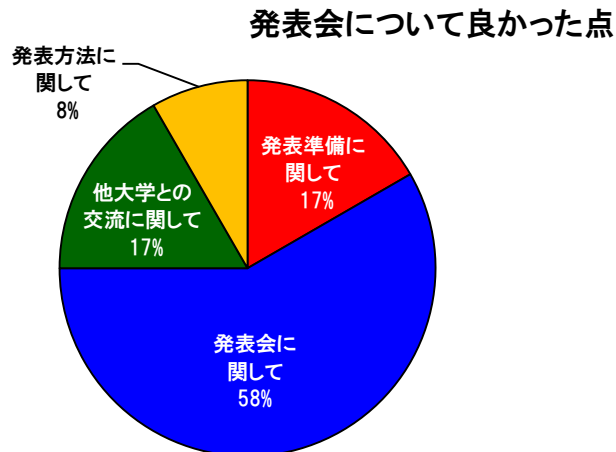
Ⅱ-3-6) 発表をすることで、講義や実習内容がより理解でき、有意義であったか

- ・強くそう思う：15名
- ・まあまあそう思う：20名
- ・あまりそう思わない：2名
- ・全く思わない：1名



Ⅱ-3-7) 発表会について良かったのはどのような点か

- 回答者数：36名、無回答者数：3名



- 以下に良かった点として受講者が挙げていた内容をカテゴリー別に記載する。

《発表準備に関して》

- ・各班に1台のパソコンを渡してもらって、USBや、写真を取り入れやすいようにしていただいたところがよかった。
- ・他大学の学生と話し合いながら発表会の準備ができた。
- ・プレゼンの準備のために徹夜をしなくてよかったのがよかった。
- ・パワポの扱い方を理解することで卒論の発表などの発表会に対して一助になったと思う。
- ・本当に少ない時間での準備だったので、その間にどれだけのものができるかわかったの

でよかった。

- ・ 一班に一つパソコンがあったこと。

《発表会に関して》

- ・ 他の班の発表を聞いて、いろんな考えや意見が聴けたのでよかった。
- ・ 他の人の意見を聞くことができたし、グループの人との交流のきっかけになった。
- ・ それぞれのグループで考え方が様々だったので、聞いていて面白かったし、勉強になったと思う。
- ・ いろいろな意見が聞けた。思ってもいなかった意見があった。
- ・ 発表することで、他の人の考えも知れた。
- ・ 班が多くあったので、さまざまなプレゼンを見ることができたこと。
- ・ 他大学の人の考え方が理解できるようになった。できなくても、考え方が異なる人とのようにしてチームを組んでいくかを考える機会をもらった。
- ・ みんな独特の意見を持ってまとめていてすばらしいと感じた。
- ・ 自分が発想しないようなアイデアを他の班が発表していた。
- ・ 他のグループの個性的な考えを知ることができてよかった。
- ・ 5分だったのでスムーズに進んだし、他大学の人の意見も聞けてよかった。
- ・ 短時間だったから、作るのも、聞くのも、集中してパッとできた。
- ・ 発表内容の深さに対して時間がちょうどよかった。
- ・ どの班も時間的にわかりやすくまとまっていたよかった。
- ・ 質問が少なかった。
- ・ 実習のみで終わらせるより、まとめとしても行えてよかった。
- ・ みんな同じような意見だったので、みんなの理想が相違ないと分かってよかった。

《他大学との交流に関して》

- ・ 他大学の人たちと意見交換できたこと。
- ・ 他大学の学生とコミュニケーションを取りながら知識や考えを深めることができた。
- ・ みんなで協力できた。
- ・ 班で積極的に話ができた。

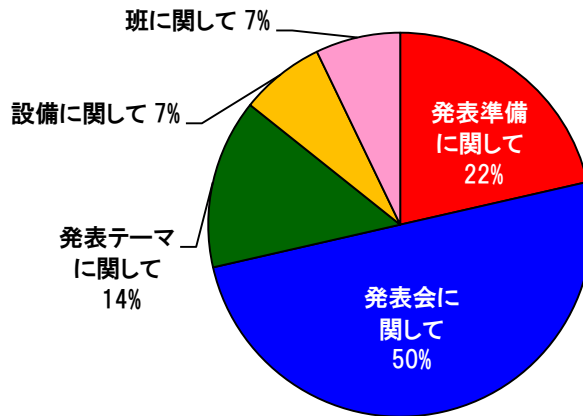
《発表方法に関して》

- ・ 紙にあらかじめ考えたことを書いて、それを見ながら発表するのではなくその場でしっかり言葉にして発表できた。
- ・ 短い時間（5分）だったので、シンプルに作ることができて、あまり負担にならなくてよかった。
- ・ 恥はあるが、人前で話す練習になること。

Ⅱ－３－８）発表会で改善した方が良いと思われるのはどのような点か

●回答者数：28名、無回答者数（特になしを含む）：11名

発表会で改善してもらいたい点



●以下に改善してもらいたい点として受講者が挙げていた内容をカテゴリー別に記載する。

《発表準備に関して》

- ・作成期間が短い。
- ・準備の時間を増やしてほしい。
- ・発表会に至るまでの時間をもっと欲しかった。
- ・話し合いの時間が、夜ではない時間にもしてもらいたい。
- ・話し合いの時間がもう少しあった方がよかったかなと思った。
- ・夜に準備するのがしんどかった。

《発表会に関して》

- ・もう少し発表の時間が欲しい。
- ・もう少し時間を長くした方が良い（6～7分）。
- ・発表する順番を番号順ではなくて、バラバラにしてほしかった。
- ・グループごとの発表が終わった後、質問時間があると良い。
- ・質疑応答は、間にした方がよいと思う。
- ・一班ごとの教員の短いコメントが欲しい。
- ・質疑応答があればさらに理解が深まった。
- ・もっと聞いている人の方を向いて発表できればよかった。
- ・もう少しゆっくりはっきり簡潔に話したかった。
- ・もう少し練るべきだった。

《発表テーマに関して》

- ・テーマが大きい。
- ・準備時間に対してテーマが広すぎる。
- ・テーマを一つに決められているので、かなりかぶっていた。自分たちで決めたり、何種類からか選べるとかもいいのかなと思った。
- ・テーマを一つに絞ると、やはり似たような意見がたくさん出るように思えるので、何種類かの中から選んで決めた方が良くはないかと思った。

《設備に関して》

- ・準備するパソコンはインターネットに接続できるようにした方が良くと思う。
- ・ネット回線は必要。

《班に関して》

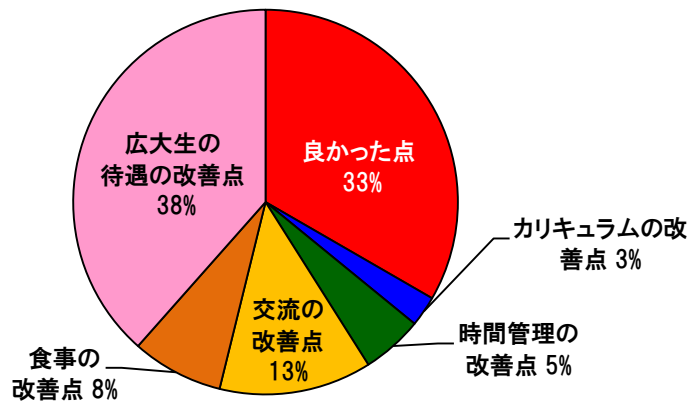
- ・班編成で、当たり外れが大きい。
- ・準備中、あまり協力せず他のことを話したり、関係ない絵をかいたりして遊んでいる人もいたのに、グループで同じ点というのはおかしいと思う。

Ⅱ-4 【今後の食農フィールド科学演習について】

Ⅱ-4-1) この演習についての良い点や改善すべき点等の感想

●回答者数：33名、無回答者数（特になしを含む）：6名

酪農フィールド演習の感想



●以下に感想として受講者が挙げていた内容をカテゴリー別に記載する。

《良かった点》

- ・すっごく楽しくて貴重な体験をさせていただいた。
- ・本当に楽しく参加できた。ありがとうございました。
- ・いろいろな体験ができて本当に楽しかった。ありがとうございました。
- ・いろいろな体験をしたり、聞くことができたので、とても満足した。
- ・この演習はスムーズに行うことができていて、無駄がなかったと思う。
- ・普段することのできないことをたくさんやらせていただいた。今回のフィールド演習に関わったすべての皆さん、ありがとうございました。
- ・実習が多かったのがよかった。
- ・実習が多く、積極的に参加できる。
- ・グループが、他大学・他の学年の人たちとの組み合わせだったこと。
- ・自分の大学ではできない経験をできること、他大学の人と交流できることはとても良いことだと思う。
- ・今回の実習では大変なこともあったが、どれもはじめてのことばかりだったので、一生懸命頑張り楽しめた。
- ・昨年が本当に良いものだったので今年も参加をしたが、このフィールド演習は心の底から自分のためになり、また今回は乳牛という私の将来の夢でもあるので、非常に貴重な時間だった。ありがとうございました。
- ・今回すばらしいフィールド演習ができてとても充実していた。

《カリキュラムの改善点》

- ・実習時間をもう少し増やしてほしい。

《時間管理の改善点》

- ・時間のゆとりがほしい。夜の拘束時間が厳しい。
- ・時間をもっと守っていただけらいいと思った。

《交流の改善点》

- ・交流会を改善してほしい。
- ・他大学の学生と交流できる時間が少なかった。
- ・交流会で班の人としか交流できなかった。
- ・交流会は班対抗のゲームをしたりすると良いと思う。
- ・実習の班の組み合わせを変えるなどしてアクセントをつけるべき。

《食事の改善点》

- ・食事の量・品数が少なすぎるし、値段が内容に対して高すぎる。
- ・食事の質と量の向上。
- ・食事が、価格と見合っていないような気がした。髪が入っていたり…

《広大生の待遇の改善点》

- ・広大生の移動が大変だった。
- ・研修センターと一緒に泊まりたかった。
- ・広大生も泊まった方が交流できるし準備もできるのでよかったかな、と思います。あと弁当も。
- ・昼食のお弁当くらいは広大生にも出してほしかった。
- ・昼休み時間を1時間→1.5時間にすべき。朝早くだと準備がままならないし、お金をとってでも弁当があると良い。
- ・昼食は大学で分けずに、弁当は出してもらえたらラクになると思う。または時間を30分増やすなど。
- ・広大の生徒にも弁当があると良い。アンケートをとって、要・不要を聞く。広大の生徒と他大学の生徒を区別しすぎている気がした。
- ・昼食の時間は、広大生にとっては負担になるように感じた。時間も短かったし、お弁当も出ないのは少し不便だと思った。お弁当が出るのであれば時間はそのままでも良いと思う。また、研修センターに集合という点も改善できればしてほしいと思った。講義の内容も広大生は以前学んだ内容で、受講する意味はあるのかなと疑問に思った。
- ・広大生にも昼食だけでも出してほしい。出ないのなら、1時間未満の休憩では足りなかった。
- ・研修センターへの夜の集合が各自なのが辛かった。泊まらなくても、夜ごはんだけでも一緒に食べるとか、バスを出してほしかった。交流も全然できなくて、泊まらないことが中途半端だった。希望者が泊まる、というシステムではなくて、受講したら必ず泊まるということにして、受講を希望者にした方がよいと思う。
- ・農場実習Ⅰと内容をかぶらせな。
- ・同じ内容を2回することが多かったが、楽しかったけど他のこともやってみたかったな、と思った。
- ・実習内容が、広大生には同じものだったので他大学の人たちに教えられてよかったけど、広大生的には違うことをしてみたかった。
- ・夜もあるということをも早めに教えてほしかった。
- ・岡山大学での牧場実習はみんなでバーベキューしたりしてとても楽しかったので少し残念だった。